

ナカイソの

機関リポジトリ 登録 超入門

junii2 対策と傾向 2011 Christmas 版

ナカ（中村健・大阪市立大学） イソ（磯野肇・奈良大学）

目次

1.	目的.....	2
2.	必須フィールド.....	3
3.	雑誌・論文現物を見る.....	4
4.	☞ ナカイソが考えるメタデータと目録.....	6
5.	タイトル（論題）.....	7
6.	著者.....	8
7.	ISSN.....	9
8.	雑誌名（論文収録誌名）.....	10
9.	巻号次.....	11
10.	年月次.....	12
11.	開始ページ・終了ページ.....	13
12.	☞ナカイソが考える転記と変換する項目.....	14
13.	URI、資源タイプ、著者版フラグ.....	15
14.	☞ ナカイソが考えるメタデータ作成の難易度.....	16
15.	☞ ローカルフィールドの持ち方.....	17

1. 目的

機関リポジトリのメタデータ（内部データ）は、外部提供データに変換されて、ハーベスト等され、機関リポジトリ→JAIRO→CiNii と流れていきます。

その流れを円滑に行うためには、適切な項目（フィールド）と記述文法が求められます。

本講習では、

1) 現物を見て項目（フィールド）を特定できる。

2) 項目（フィールド）にあった記述ができる

の二点を目指します。寒いけどがんばりましょう。

（仮定する環境）

- ・利用者が参考文献リストを見ながら CiNii を検索するときに必要なデータ量を想定します。
- ・所属館が CiNii 連携申請をしたと仮定します。

※CiNii 連携の対象資料は次の資源タイプ（NII type）のものに限られます。

Journal Article(学術雑誌論文)、Department Bulletin Paper(紀要論文)、
Article(一般雑誌記事)

☞ ナカイソが提案する登録場所の考え方

登録する	どちらでもよい	登録しなくてもよい
論文	はじめに	投稿規定
報告	あとがき	広告
著作目録	活動報告	
	表紙	
	目次	
	奥付	

※「どちらでもよい」には著作権者や機関での話し合いという解決方法も含まれます。

※ 表紙のサムネイルをつくるため表紙を登録している機関もあるようです。

2. 必須フィールド

データを作る際に必ず記入する項目のこと

☞ ナカイツが考えるポジトリ登録に最低限必要なフィールド、これを推奨 1 とします。

junii2 が規定する必須項目

- ・ タイトル
- ・ 資源識別子 URI
- ・ 資源タイプ

☞ 必須ではないがナカイツが推奨する項目

- ・ 作成者
- ・ ISSN
- ・ 雑誌名
- ・ 巻
- ・ 号
- ・ 開始ページ
- ・ 終了ページ
- ・ 刊行年月
- ・ 著者版フラグ
- ・ 本文フルテキストへのリンク
- ・ 書誌レコード ID (総合目録 DB)

以上の名称は junii2 に準拠しています。

3. 雑誌・論文現物を見る

【雑誌】

<p>タイトル (雑誌名)</p> <p>磯野産大紀要</p> <p>健康科学部篇</p>	<p>別言語タイトル(雑誌名)</p> <p>Journal of Isono Industry University</p> <p>Health Science</p>
<p>巻号次</p> <p>2 巻 1 号</p> <p>(目次)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大衆文学の成立 107・ 122・ I	<p>Volume 2 issue1</p> <p>(contents)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大衆文学の成立 107・ 122・ I
<p>年月次=junii2 ではマッピング先なし</p> <p>平成 22 年 12 月</p>	<p>2010. 12</p>

【論文】

① 大衆文学の成立
——「知る日くもる日」「鳴門秘航」の登場

② 中村 健

③ The Formation of Japanese Popular Literature: The Appearance of "Teruhi Kumoruhi" and "Naruto Hichou"

④ Takeshi Nakamura

⑤ 大衆文学の名称の由来となった平凡社『現代大衆文学全集』の広告が昭和2年2月から4月まで『大阪朝日新聞』『大阪毎日新聞』に掲載された。この頃、朝日には大橋次郎「知る日くもる日」と吉川英治「鳴門秘航」が連載されていた。従来、両作品は人気劇から大衆文学の成立に寄与した作品とされてきたが、この広告と連載版面を分析した結果、両書には相関関係があることがわかった。

⑥ The advertisement of the Gendai Taishu Bungaku Zenshu by Heibonsha, the name of Japanese popular literature came from that, were published in Osaka Asahi Shinbun and Osaka Mainichi Shinbun from February to April in 1927. Osaragi Jiro's "Teruhi Kumoruhi" and Yoshikawa Eiji's "Naruto Hichou" were published in each newspaper at the same time. I found that these stories have a direct correlation between the advertisement.

⑦ キーワード：大衆文学、現代大衆文学全集、大橋次郎、吉川英治、新聞中絶

⑧ 107

①論文のタイトル、
論題、論文名、タイトル
と呼び方があります。

②論文を書いた人、
著者名、筆者、執筆者と言います。

③英語で書かれた①

④英語で書かれた②

⑤著者付与の論文の概要
梗概、abstract などという。

⑥英語表記の⑤

⑦著者付与のキーワード

⑧開始ページ

⑨この文章の種類
論文、報告、コラム等名称は
様々。

から文体の変化とそれに伴う心理描写への深化が顕著になっていく。そして、後編作品にその変化は確実に受け継がれていった。共通の回路として講談を基盤にした日文一致の流れは、口語体による感情表現を伴った作品に深みをもたらした表現の幅を広げた。内容的にも「新講談」から「大衆文学」になったと見ることが出来る。

以上の二点から、従来の人気や内容面の評価のほかに、出版史的観点からも、この二作は大衆文学の成立期に位置する作品として位置づけることが出来るのではないだろうか。

付記しておきたいのは、冒頭にも書いたように当時、大橋、吉川は新人で、前作の作者と重たの差が存在していたことが表現感覚に違いが出てくる理由の一つと考えられる。

なお、この転換が関与する新聞紙上で起きたことは、関西出版史上重要な出来事であり、二人を起用した内海漱木と阿部真之助の評価が課題として残ったが後日に戻したい。

ア) 6万5千部、『文藝新書』5万部としている。尾崎秀雄・石川弘義『出版史の歴史 一八九五年—一九四一年』(法政ニュース社、1989年)の『文壇時評』「サンデー毎日」の項目には、『関西朝日』創刊号を35万部、『サンデー毎日』創刊号の38万部とある。

3) 青山輝雄「一九二〇年代のメディア書業形態—読者生活者・労働者を中心に」『西條研究』15号、1984年)。この論文は大衆文学研究の成果に対応するデータが多く示されている。

4) 山本武利『近代日本の新聞雑誌』(法政大学出版局、1981年)P212-213 大日本通信青年部『金田書局基本調査』昭和5年版の分析結果による。

7) 大橋次郎「『知る日くもる日』と『鳴門秘航』のこれら」で当時を振り返っている。二人とも『大橋次郎全集』(大橋次郎著、吉川英治編『鳴門秘航』のこころ)で当時を振り返っている。

8) 横田勝太郎『大橋次郎全集』(大橋次郎著、吉川英治編『鳴門秘航』のこころ)で当時を振り返っている。

9) 大橋次郎『知る日くもる日』(大橋次郎著、吉川英治編『鳴門秘航』のこころ)で当時を振り返っている。

11) 文学史上の出来事

12) 尾崎秀雄『大衆文学』

13) 伊集院隆『大衆文学論』(阪急社出版部、1942年)P79-80

14) 小林清二「一九三三年の新講談—林不忘『新講談 吾下五郎』の試み」『新講談研究』116号11号、1964年『林不忘『新講談』の試み—講談への挑戦をめぐって』(『新講談研究』第4集) 新講談社、2005年)

15) 尾崎秀雄との関連を指すのであれば「知る日くもる日」の前作である行友半郎『秘航八重』と『鳴門秘航』を比較調査するのが適切かと思うので付記する。

16) 熊倉行一『大橋次郎』下巻(集英社、1995年)P28

17) 『鳴門秘航』は、当時は講談体であるが、途中から口語体と講談体が混在する。「知る日くもる日」はほぼ口語体で書かれているが、文体が変化している。ちなみに、『鳴門秘航』の後の連載は阿部真之助の『五郎の光』で重田作品は、口語体であり、当時、作品の形態性も高く評価されている。横田の作品として両者の非連続がある。

108

(阪急社出版部、1942年)

大衆文学の成立 127

論文本文はここで終了ですが、「注」「主要参考文献」も論文に含まれますので、最終ページまでスクリーンしましょう。

4. 🖱️ ナカイソが考えるメタデータと目録

機関リポジトリのメタデータと目録は作業手順や表示された形式、記述文法がよく似ています。目録はメタデータの一つとっていいでしょう。メタデータを集めた『情報の科学と技術』60巻12号でも「現在のソフトウェア技術では、こうしたガイドライン（引用者注：junii2）を設けて記述の統一を図らないと、メタデータを活用した検索システムは効果を発揮できないことを示していると考えていいだろう。」（栗山正光「各国・国際レベルでのメタ・データに関する取り組み」）と指摘しているように、メタデータも目録同様、ある程度、基準を満たすべく必須のフィールド（項目）と記述文法が求められます。そこでいくつかの考え方を紹介しましょう。

1.メタデータを書く、目録をとるということ

情報源（論文、目次）に書かれている情報を、メタデータ（目録）の形式に置き換えて記述することです。

2.転記と変換

転記とは、情報源にある言葉をそのまま記すことです。変換とは、コードや漢数字をアラビア数字に直したりとフィールドの特性に応じて、記述を変えることをいいます。

3.主な区切り記号

：（コロン） 主題と副題を分けるときに使います。

=（イコール） 本タイトルを他言語での表記（並列タイトル）をあらわすときに使います。

△（半角スペース） スペースは半角が基準です。

[]（カクカッコ） 推定の場合や環境依存文字の場合のヨミを括弧する場合に使います。

，（カンマ） 姓・名を区切るときに使います。

4.ヨミと分かち（日本語特有の問題と考えてください）

ヨミ

ヅ→ズ ハ→ワ ラ→オ

2歳→2サイ（×ニサイ） ISDN方式→ISDNホウシキ（×アイエスディエヌホウシキ）

※ラテン文字、アラビア文字、記号等は表示されている通りをヨミとしましょう。

分かち

近畿一円→キンキ△イチエン における→ニオケル

※分かちで区切りましょうといいますが、なかなか難しい。単語レベルに考えると分かりやすいかもしれない。

ポイント

1.転記

2.目録とほぼ同じ文法

3.論文を登録することが前提（論題－収録誌名の2階層）

10. 年月次

junii2 では年月次をマッピングする項目はありません。代わりに発行（出版）年月日を採用します。

- ・発行年月日を `dateofissued` にマッピングする項目に入力します。
- ・発行年月日なので、奥付の発行日を入力してください。
- ・`date` はコンテンツ作成日を入力する場所なので、間違えて入力すると JAIRO で並び変えが出来なくなります。

次の3形式で入力できます。

`yyyy yyyy-mm, yyyy-mm-dd`

例：2005年9月25日

2005-09-25

例：2005年9月

2005-09

例：2005年

2005

12. ナカイツが考える転記と変換する項目

フィールド名	junii2	転記 OR 変換	JAIRO	CiNii
タイトル	title	転記	詳細検索対象	詳細検索対象
タイトル (ヨミ)	alternative	分かちとヨミに変換	詳細検索対象	詳細検索対象
作成者	creator	転記	詳細検索対象	詳細検索対象
雑誌名	jttitle	転記	詳細検索対象	詳細検索対象
ISSN	issn	転記	詳細検索対象	詳細検索対象
巻	volume	アラビア数字に変換	表示のみ、同定用	詳細検索対象
号	issue	アラビア数字に変換	表示のみ、同定用	詳細検索対象
刊行年月	dateofissued	西暦とアラビア数字に変換	ソートに有効、同定用	表示されない？
開始ページ	spage	転記	表示のみ、同定用	詳細検索対象
終了ページ	epage	転記	表示のみ、同定用	詳細検索対象
URI	URI	転記	表示のみ、同定用	表示のみ、同定用
資源タイプ	NIIttype	junii2 の指定言語に変換	表示のみ、同定用	表示のみ、同定用
著者版フラグ	textversion	junii2 の指定言語に変換	表示のみ、同定用	表示のみ、同定用

作成された目録は、検索され、同定（どうてい）して、対象のデータが探していたものと合致するか判断します。その際に、巻号、刊行年月、ページ数はデータを同定する上で重要なものとなります。

13. URI、資源タイプ、著者版フラグ

・URI はメタデータ書誌のURLを指します。本文（PDF）のURLではないので混同せずに記入しましょう。一度、ハーベストされると変更がききません。

システムの変更等でURLが変更なる場合は、URIの変更をN I Iに連絡しましょう。

・資源タイプは「記事種別」(=type)とは別の項目です。ハーベストや CiNii 連携に必須ですので忘れないようにしましょう。

・著者版フラグ(=textversion)は、本文の品質を示す重要な項目です。XooNips 項目名では(版)にあたります。

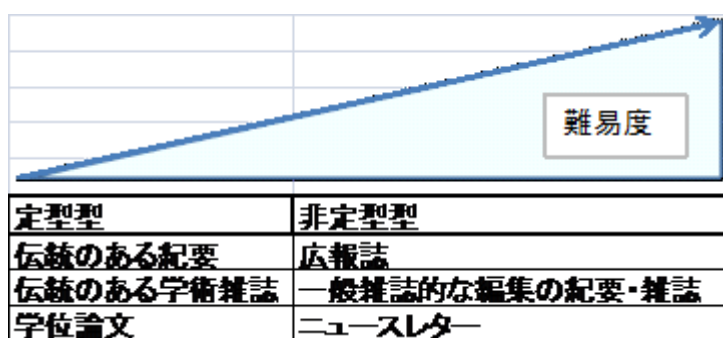
author	=著者版
publisher	=出版者版
none	=それ以外

※引用の際、著者版か出版者版か区別することは重要なので忘れないようにしてください。

14. 👉 ナカイツが考えるメタデータ作成の難易度

ここまで皆さんと junii2 対応のためのメタデータ作成のフィールドと記述規則を見てきました。目録の記述に比べると入力しやすい部分が多いです。しかし、資料種別という観点で見ると、難しいものがあります。定型型に分類した紀要・学術雑誌は、レイアウトが決まっているので比較的フィールドを見極めやすく、記述もおこないやすいものです。「3.雑誌・論文現物を見る」で説明した例は、定型型のレイアウトのタイプです。

しかし、ニューズレターや一般雑誌的な編集レイアウトをもつ紀要や雑誌になると、様々なスタイルで記述されるためにフィールドの特定が難しくなり、作成の難度も上がっていきます。



例えば、無署名のインタビュー記事の場合、作者は誰でしょうか？ タイトル横に記される強調の一言は副題になるのでしょうか？ など様々な疑問が出てくるはずです。その際に重要なのは、定型型の基本に戻ることです。各フィールドの意味を考え、近いものを採用したり、新たにローカルフィールドを設定するなどして、記述しましょう。

また、機会がありましたら、非定型型の雑誌の論文や記事のメタデータ作成にも触れたいと思います。

15. ローカルフィールドの持ち方

junii2 にハーベストしないフィールドはローカルフィールドとして存在することになります。検索のために必要と考えられる情報や、書誌情報として補足したいものを設定することになります。

例えば、6.著者で説明したように、junii2 には表記形として一つだけしか渡せません。しかし、漢字表記の名前は、ヨミがあると検索に有効なので、「ヨミ」はローカルフィールドとしてもつとよいでしょう。

また、タイトルでも誤記などがあった場合は、ローカルで「別タイトル」のようにもつと検索に有効です。

ローカルフィールドは特別な規則がないので、自由に設定できます。だからといって、その時のあなたの気分でむやみに設定してしまうと他のメタデータとのバランスが取れなくなります。「検索に有効」などテーマを決めて設定しましょう。

メタデータの時代においては、どのようにデータが検索されるか？ どのように連携させるか？ という意識が重要になり、図書館員の専門性につながるものとなります。

では、またお会いしましょう。よいお年を！